

文久三年十二月三日より文久三年十二月六日まで

P8311061 right

酒肴(飯)を設く、内山へ(鶏卵一箇)桑野へ(魚二尾)寒見舞遣せし旨、広沢(悦)用金返し来りし旨  
三日戌亥 晴

伊助の秀八郎(朔日)御先手同心被仰付、吹聴有し煤(すす)払に付、同人方より菓(果)を贈り越す、  
同断に付寺山

を頼み収手せしむ夫々へ賀銀を遣す、出 殿、退出黄昏に至る、大塚小君寒見舞として来り  
柑(みかん)一籠を贈られし旨、黄窪より書籍箱請取のもの差越、焼芋を贈り越す旨、坂町よりみ  
はる(来り)

近々婚嫁の由也、細谷(秀)より持進賀赤飯、並二種肴を贈り越せり、山本(次郎)寒見舞来りし旨  
四日亥子 晴

濟海寺出府の幸(プロイセン)国使節へ他行差留の御書翰御渡に付早登城退出薄晩に近し、大越  
へ(鶏卵一大箇)

柳亭へ(魚二尾)山田へ(鶏卵一小箇)【文字判読不可】使遣せし旨、牛姑割烹品其他小品携へ  
来れり

五日子丑 晴夕前雨意

P8311061 left

佐に竹(籠)志願筋にて来る、寺山一昨同様にて来る、小婢トミ請状いたす、細谷(秀)栄転賀  
遣す、宿岡(留)【文字判読不可】源次郎組川瀬 初て来り宿岡養子願の儀に付、客(客)告筋これ  
あり、出 殿、減税談判の儀御談、河内守殿より御沙汰有し、退出黄昏に至る、三好(三好)【  
今朝

心願書へ一篇の文章添持参、黄窪へ(鶏卵シツホク物一重)牛込へ(あらめ巻(※)一重)坂町に  
(魚三尾)寒見舞として

使遣せし旨、藤山(馬)寒見舞に来りし旨、金港甲州より此度欧行御国書条促し来り外、  
筑豆両州宛

書状届く、濟海寺談より幸船へ遣す、水代料の儀等申し来る、即報遣す、三輪(三輪)へ転役  
転宅を報告す

六日丑寅 陰夕前晴風凧

昨来甲州よりの書状類豆州方へ為持遣す、松本(寿)より、此度栄転賀として乾鯉一折、定  
紋附小柄

一柄贈り来る、本日栄転賀糕十一家へ使を出す、京地小栗総(州)より栄転賀状届く、出 殿  
退出黄昏に至る

\*1.あらめ巻、別ページに荒目巻の記述あり、鮭の新巻か？

( )内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。